

『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』の最終回結末に関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』の最終回結末に関するアンケート調査
調査対象	『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』を読んだことのある10代～50代の男女6名
調査期間	2025年10月15日～2025年10月16日 2026年4月28日～2026年4月29日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kari-somenotigiri/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』の最終回の結末を予想してください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	3人
30代女性	0人
40代男性	0人
40代女性	1人
50代男性	2人
50代女性	0人

Q2:『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』の最終回の結末を予想してください。

まず友人関係ですけど、莉律子と揉めはしたものの、どういった経緯で絢子と雄一郎が結ばれたか知って理解することになると思います。

雄一郎と絢子の関係ですけど、これはハッピーエンドを迎えると感じています。

雄一郎は絢子の実家と話をつけ、そして絢子が何故張り付いた笑顔みせるのか理解。

そしてそういったことにならないよう絢子に接し、絢子の方もそんな雄一郎に気を許して本当の夫婦になって終わるという展開を予想しています。

周りの人間は絢子を不幸にするつもりしかないかのような設定ですが、そんな前半だからこそ、結末は絢子のハッピーエンドに終わる可能性は高いでしょう。

具体的には、あまり感情を表に出さない雄一郎が本当に絢子のことを愛するようになり、初めてと言ってもいい愛を得ることになると思います。

そして絢子を不幸にしてきた人々、周りの使用人や、そして何と言っても無駄に贅沢を極め、実質的には絢子を金のために売ったとも言える藤原家はそのままだ没落し、雄一郎の寵愛を受け幸せを手にする絢子に継ろうとするも、雄一郎に冷たくあしらわれる。そんな結末になるのではないのでしょうか。

とにかく前半部分は次々と不幸が襲ってきて、見ていて吐き気がするほどのひどい状況にありますけど没落し不幸な人生を送っていたのが王子様に見初められて一発逆転というのは、物語の王道です。きっと彼女もまた同じ。今回の王子さまは雄一郎でしょう。どうやら過去に因縁があるみたいですし、それが明らかになりもう一度の上昇が二人結婚してめでたしめでたしで終わるのではないかと思います。

絢子が過酷な運命を乗り越え、真に愛し合える相手(雄一郎)と結ばれるハッピーエンドになってほしいと思います。自立した女性として認められたうえで、形式だけでなく心からの「契り」を結ぶ展開が描かれそうです。最後は雄一郎と幸せを匂わせたのエンディングになってほしいです

最終回では、今まで誰からも愛されてこなかった絢子が、一途に愛し続けてくれる雄一郎と結ばれて幸せに終わるのではないかと予想します。絢子の両親は必死に絢子にすがりそうですが、絢子はそんな姿にも目もくれず、自分だけの幸せな道を進んでほしいです。

絢子と雄一郎は、まるで熱愛カップルのような夫婦となり、やがて絢子は妊娠・出産を迎えます。こうして子どもにも恵まれた二人は、幸せな家庭を築き、穏やかな日々を送っていくのではないのでしょうか。一方で、女学校時代の友人である莉律子とも和解することになります。莉律子もまた素敵な男性と結婚して子どもを授かり、時折お茶会を開いては子育ての悩みを語り合う。そんな関係へと戻っていく様子が想像できます。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス